

都市再生整備計画 事後評価シート  
下関駅にぎわいプロジェクト地区

平成26年3月

山口県下関市

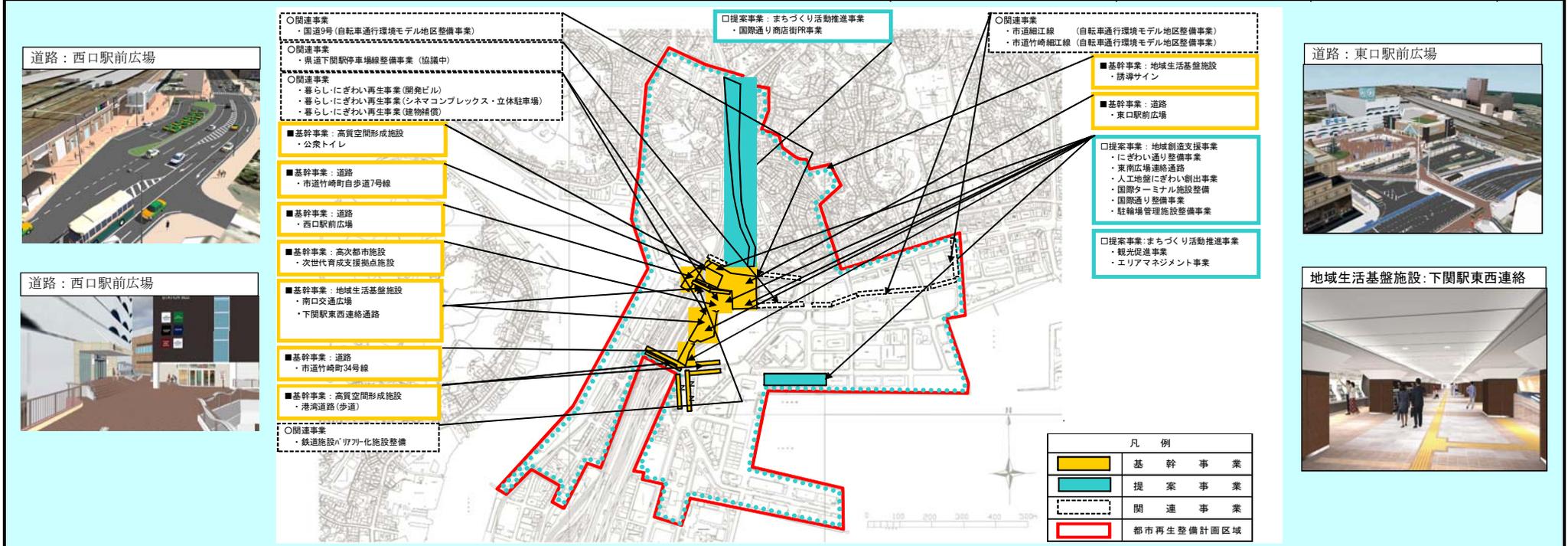
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	下関市		地区名	下関駅にぎわいプロジェクト地区			面積	98ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	7857.7	国费率	0.449				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路：東口駅前広場、西口駅前広場、市道竹崎町自歩道7号線、市道竹崎町34号線、地域生活基盤施設：駅ビル1F広場、南口交通広場、高架下駐輪場、誘導サイン、高質空間形成施設：公衆トイレ、港湾道路(歩道)、高次都市施設：駅ビル2F自由通路、高架下2F自由通路、次世代育成支援拠点施設									
			提案事業	地域創造支援事業：国際ターミナル施設整備、まちづくり活動推進事業：観光促進事業									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	事業活用調査：歩行者通行量調査、モニタリング・事後評価		下関市中心市街地活性化基本計画における成果指標等の調査において、同調査を行うこととなっており、本地区は同計画区域内に包括されるため。			影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	国際通り整備事業、にぎわい通り整備事業、人工地盤にぎわい創出事業、駐輪場管理施設整備事業、国際通り商店街PR事業、エリアマネジメント事業		国際通り整備事業、国際通り商店街PR事業：既存商店街である国際通りの持つ固有の特徴を強調するため。人工地盤にぎわい創出事業：人工地盤にぎわいを出すため。エリアマネジメント事業：継続的ににぎわい創出を図るため。にぎわい通り整備事業：市民、観光客の快適性の向上を図るため。駐輪場管理施設整備事業：駐輪場の有料化に伴う整備を行うため。			国際通り整備事業の追加により歩行者通行量調査の観測地点が増えたため、上方修正を行った。				
交付期間の変更		当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	中心市街地に訪れる年間観光客数	人/年	112,600	H16～H19平均	112,600	H25	モニタリング	121,605	○	あり	交通利便性の向上や、商店街の魅力の強化が観光入込客数の増加につながった。	平成26年12月
	指標2	中心市街地の公共施設の年間利用者数	人/年	219,292	H20	331,000	H25		977,751	○	あり	次世代育成支援拠点施設を駅前に整備したこと等が施設利用者数の増加につながった。	平成26年12月
	指標3	歩行者・自転車通行量	人/日	34,359	H20	35,743	H25		39,026	○	あり	利便性の向上とイベント等の実施により人の往来が増えたことによる。	平成26年9月
	指標4										あり		
	指標5										あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・下関市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後も下関市中心市街地活性化協議会において意見を聞いてまちづくりの推進を図る。					
	持続的なまちづくり体制の構築	・エリアマネジメント組織の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● エリアマネジメント組織の立ち上げを行い、ハード面の整備が完了した後のソフト面の取り組みを進める。					

## 様式2-2 地区の概要

### 下関駅にぎわいプロジェクト地区(山口県下関) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 下関駅周辺のにぎわい・交流拠点の創出、街なか生活の再生、街なか回遊の創出を創出するまちづくりを目指す。 目標①「多彩な魅力が備わり、ゆっくり訪れたい街」の実現 目標②「愛着をもって、いきいきと暮らせる街」の実現 目標③「歩きたくなる、回遊したくなる街」の実現	観光入込客数	単位: 人/年	112,600 H16~19平均	112,600 H25
	施設利用者数	単位: 人/年	219,292 H20	331,000 H25
	歩行者通行量	単位: 人/日	34,359 H20	35,743 H25
		単位:	H	H
		単位:	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下関駅から直接人工地盤上にアクセス出来るようになったため、人工地盤の利便性が強化され周辺施設の利用者数が増加した。</li> <li>・下関駅周辺の道路整備、誘導サインの設置などにより利便性が強化され、回遊性が高まった。</li> <li>・国際ターミナルの整備や国際通りの整備などにより、観光客数が増加した。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる基盤整備(ハード)はほぼ達成されたので、今後の効果の持続のため、エリアマネジメント組織などにより意見を聴取し、ソフト面の取り組みも検討していく。</li> <li>・人工地盤を有効に使用するために周辺民間施設等と協議を行っていく。</li> </ul>